



ロータリー財団100周年記念シンポジウム

主催:日本ロータリー学友会  
後援:朝日新聞社

# 国際人道支援の第一線で活躍する ロータリー財団学友の報告

2016年11月27日、JPタワーホール(東京)にて、国際ロータリーが運営するロータリー財団の100周年を記念するシンポジウムが開催されました。同財団の奨学生を得て海外の大学で学んだ後、国際支援の現場で活躍する精銳が集まり、人道援助の現状と展望を、約800名の聴衆と分かち合いました。

緒方貞子博士を筆頭に、優れた人材を世に送り出してきたロータリー財団の奨学生制度の成果と、息の長い教育支援の重要性を改めて認識する集まりとなりました。



金子由佳 氏  
2010年  
平和フローー  
熊谷東クラブ派遣



國枝美佳 氏  
1996年  
国際親善奨学生  
藤沢北クラブ派遣

種員の教育なども行いました。その成果が表れ、ナジエリアは2014年7月から2年間、WHOのボリオ常駐国から外行を止めることができました。金子駐在中のパレスチナガザ地区は06年からイスラエルによつて軍事封鎖されており、約200万人のパレスチナ人が「天井のない監獄」に閉じ込められています。ここで私は、子どもたちの栄養改善事業に取り組んでいます。

赤阪 駐在中のパレスチナガザ地区は06年からイスラエルによつて軍事封鎖されており、約200万人のパレスチナ人が「天井のない監獄」に閉じ込められています。ここで私は、子どもたちの栄養改善事業に取り組んでいます。

金子 中東に対する私の活動は、WHOのボリオ常駐国から外行を止めることができます。この間、私は、子どもたちの栄養改善事業に取り組んでいます。

阿阪 前職で赴任していた南

アラブ半島の紛争は政治的対立が

ます。駐在中の13年12月15日、何

兆候もなく内戦が始まりまし

た。UNHCRのフィールド事務

所にいた職員はすぐに首都ジュ

バに退避しましたが私の2人の

夫婦と一緒に、私はタンザニアとシリアに勤務していました。シリアは

中満 政治的解決につきま

す。私はタニヤーとシリア

に勤務していました。シリアは

幸いです。

赤阪 私はタニヤーとシリア

に勤務していました。シリアは

幸いです。

赤阪 私はタニヤーとシリア